

【カナダ】国防政策の見直しに関する連邦議会報告書

海外立法情報課長 塚田 洋

* 2017年4月から5月にかけて、連邦議会上院国家安全保障防衛委員会は、国防政策の見直しに関する2本の報告書を発表した。国防予算の大幅増、防衛装備の調達制度改革等、主な提言は、6月に発表された政府の新国防政策にも反映されている。

1 背景と経緯

2015年10月に約10年ぶりに復帰した自由党政権は、国民的議論を踏まえた国防政策の見直しを進め、その一環として、連邦議会上院国家安全保障防衛委員会にPKO派遣の在り方を諮問した。2016年11月、同委員会は、議会の事前承認の必要性等を報告書に取りまとめた（本誌271-2号（2017年5月）pp.2-3参照）。今回の見直しは2008年以来の大規模なものであることから、同委員会はさらに国防政策全般について課題を整理し、2本の報告書として発表した。

2 報告書の主な内容

(1) 報告書（総論）

2017年4月13日発表の報告書「軍の予算不足：言行一致が必要である」（注1）は、総論に当たる。報告書は、北朝鮮によるミサイル開発、テロ組織の世界的な活動、北極海におけるロシアの活動等を例に、カナダの安全保障環境が厳しさを増していることを指摘する一方、歴代政権が国防政策の重要性にたびたび言及しながら、必要な措置を怠ったと批判している。また、国防政策の優先順位が、①本土防衛、②北米航空宇宙防衛司令部（North American Aerospace Defense Command: NORAD）を通じた、アメリカと共同で行う北米防衛、③北大西洋条約機構（NATO）、国連を始めとする国際的活動への寄与の順であることを再確認した上で、政策全般の課題を挙げている。

第一の課題は、予算不足である。現在、国防予算はGDP比0.88%（NATO加盟28か国中23位）であるが、これを2028年度までにNATO基準の2.0%へ引き上げることを求めている。同委員会は、議会予算局（Parliament Budget Officer: PBO）の試算（注2）等を基に、以前からこの問題を指摘してきたが、「米国第一主義」を唱えるトランプ（Donald Trump）政権の登場で、緊急性が増しているという。第二は、防衛装備の調達制度改革である。従来の制度は、省庁タテ割りによる調整コストが大きく、調達の遅れが常態化していた。報告書は、これを解消するため調達事務を国防省へ全面的に移管し、高額な調達案件については執行責任者を置いて進捗管理を徹底することを提言する。このほか、衛星やレーダー等の重要施設の防衛強化、4年ごとの国防政策見直し等にも言及する。

(2) 報告書（各論）

各論に当たる2017年5月8日の報告書「カナダ軍への再投資：将来への計画」（注3）は、主にカナダ軍の装備について具体的な提言を行っている。国防予算の大幅増を前提と

していることから、新型艦船や航空機の配備を始め内容は多岐にわたるが、特に北極圏の防衛強化や米軍及び NATO 軍との連携を意識した項目が多く見られる。例えば、アラスカ及びカナダ北部に展開しているレーダー網「北方警戒システム」(North Warning System)の更新、NORAD を通じた防空能力の強化、イージスシステム搭載艦の導入、北極圏警備部隊であるカナディアン・レンジャーズ(Canadian Rangers)の増員及び装備充実等である。

一方、調達計画の一部については抜本的な見直しを求めている。現在建造中の哨戒艦については、砕氷能力が低く冬季に北極海を単独航行できないという問題点を指摘している。また、老朽化した主力戦闘機についても、政府選定の後継機種では米軍及び NATO 軍との相互運用性に難があるとして再検討が必要であるという。

このほか、カナダ軍におけるセクシャル・ハラスメント(性的嫌がらせ)や性的暴行(注4)の撲滅を喫緊の課題と指摘するほか、専門職給与の見直し、隊員募集活動の強化等、人材確保策も提言している。

3 新国防政策の発表

2017年6月7日、サジャン(Harjit Sajjan)国防相は、上述した上院の報告書も踏まえ、新たな国防政策を発表した(注5)。新政策は、カナダ軍の役割に見合った投資を行うとし、国防予算を増額し装備充実と兵力増強を目指している。報告書が求める水準には達しないものの、国防予算は今後10年で70%以上増額され、2027年度までに327億カナダドル(注6)(GDP比1.4%)に達する見通しである。防衛調達については、国防省に調達契約の80%を所管させること、省庁間の調整期間を半減させることで改善に取り組むとしている。また、NORADへの関与拡大、主力戦闘機の選定プロセスの見直し等にも言及している。

注(インターネット情報は2017年7月13日現在である。)

- (1) The Standing Senate Committee on National Security and Defence, *Military Underfunded: The walk must match the talk*, April 13, 2017. <https://sencanada.ca/content/sen/committee/421/SECD/Reports/DEFENCE_DPR_FINAL_e.pdf>
- (2) The Parliamentary Budget Officer, *Fiscal Sustainability of Canada's National Defence Program*, March 26, 2015. <http://www.pbo-dpb.gc.ca/web/default/files/files/files/Defence_Analysis_EN.pdf>
- (3) The Standing Senate Committee on National Security and Defence, *Reinvesting in the Canadian Armed Forces: A plan for the future*, May 8, 2017. <http://publications.gc.ca/collections/collection_2017/sen/yc33-0/YC33-0-421-11-eng.pdf>
- (4) 被害の実態は、デシャン(Marie Deschamps)元最高裁判事が指揮した調査によって明らかとなっている。Marie Deschamps, C.C. Ad.E., *External Review into Sexual Misconduct and Sexual Harassment in the Canadian Armed Forces*, March 27, 2015. <http://ywcacanada.ca/data/research_docs/00000352.pdf>
- (5) The Department of National Defence, *Strong, Secure, Engaged: Canada's Defence Policy*, June 7, 2017. <<http://dgpaapp.forces.gc.ca/en/canada-defence-policy/docs/canada-defence-policy-report.pdf>>
- (6) 1カナダドルは約82円(平成29年7月分報告省令レート)。